

手ぶらでOK! キッズスペースも新設 与板★中川清兵衛記念 BBQビール園

オープンから3年、「地元食材」にこだわったメニューがさらにパワーアップ。友人や家族、職場仲間ぜひお楽しみください。

時 10月27日(土)までの午前11時～午後3時、5時～9時
場 河川緑地たちばな公園内(与板町与板)
★厳選素材の充実メニュー
食事プラン…スタンダード3,000円、デラックス4,000円、長岡食材コース5,500円、キッズセット1,000円など(器材・食材費含む)
飲み物プラン(3時間飲み放題)…1,500円(ソフトド

リンクのみは500円)
★アクセスで割引あり
①マイカー運転手の飲み物代は無料②長岡駅～ビール園のお得なタクシーチケット販売③団体貸切バスの手配
予約受付中 ☎0258・41・5600、ホームページhttp://www.nagaoka-yoita-beer.jp/
※メニューや割引など詳しくは市ホームページまたはお問い合わせください



どちらも
4/28 土
から
園観光企画課
☎39・2344

お得に、手軽に お出かけしよう!

寺泊から片道65分 日帰りで佐渡を堪能 高速船「あいびす」

寺泊と赤泊を結ぶ高速船「あいびす」で、お得に佐渡観光を楽しみませんか。

- あいびす通常運行
寺泊港発 主に土・日・祝日午前9時20分、午後5時40分 赤泊港発 同午前6時35分、午後4時 ¥片道2,830円、往復5,150円
- 5,000円～で超おトク!
「佐渡日帰りパック」
コース(見どころ)=①佐渡金山②砂金採り・たらい舟・トキ見学③大野亀トビシマカンゾウ散策④赤泊の名所と町並み散策
¥①②7,500円③8,500円

④5,000円
※通常運行、「日帰りパック」はいずれも小学生以下は割引あり。運行日や出発日など詳しくはお問い合わせください 田佐渡汽船観光(株)寺泊営業所 ☎75・3294



※長岡市と佐渡市は、観光客の誘致や市民交流の活性化のために、集客プロモーションパートナー都市協定を結んでいます



子育て中の父親が立ち上げた「ゆるりま」。知らない親同士、子ども同士が交流する場です



おもちゃの修理をボランティアで行う「長岡おもちゃ病院」

多世代、地域でつながり、 支え合うまちをつくらう

ちょっとした手助けやつながりから、「支え合い」が生まれます。安心して暮らせる社会をつくるため、多世代、地域で協力し「支え合い」を広げていきましょう。



奈なかキャンパス長岡のまちづくり市民研究所から生まれた「Nagaokaみんなの子育てラボ」。子育て中の親同士が支え合ったり課題を話し合ったりします



ボランティアが食事を提供し、ひとり暮らし高齢者などが集まって会食します

市は、誰もが健やかで元気に、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指すため、地域福祉計画をまとめました。現在、少子高齢化や、価値観・ライフスタイルの多様化などにより、地域・個人が抱える課題が複雑になってきています。本計画では、高齢者、障害者、子どもなど、各分野の「互助」の取り組みを整理し「支える側」と「支えられる側」という関係を超え、そして世代を超えた「支え合い」となるよう、地域と行政が協力しながら地域福祉の推進に取り組みます。

また市は、世代、障害、生活状況などを問わず、地域を基盤とした一体的な支援をさらに進めていきます。

住民同士や世代間のつながりを大切にし、お互いが支え合いの当事者として、みんなで作る社会。新しい時代の福祉を始めましょう。

**身近に相談できる
環境をつくります**

長岡市健康課
監物雅代 保健師

今年度から保健師を各地区に割り当て、年齢や障害、病気別の縦割りではなく、多様化する課題を抱える人とその家族を「丸ごと」受け止め、支えていきます。窓口を地区担当保健師に一本化することで、より相談しやすい環境を整えます。

地域住民や関係団体、専門職、行政が一体となって支援するので、健康・医療、福祉などに関してどこに相談したらよいかわからないような困りごとがあればご相談ください。住み慣れた地域で安心して暮らせるように多方面から対応していきます。「身近に相談できる人がいる」と思ってもらえるよう、寄り添ってまいります。

**ボランティアの
輪を広げます**

ボランティアセンター
センター長
長谷川道郎さん

社会福祉センター「トモシア」にあるボランティアセンターは、ボランティアの相談受け付けや、ボランティアをしたい人としてもらいたい人のマッチングを行っています。昨年度は年間1,000件以上の相談を受けました。センターは市民ボランティア活動の拠点にもなっていますので、この場所をきっかけに利用者同士が横につながり、ボランティアの輪が広がるのを期待しています。

今後は、多世代がさまざまな分野で支え合えるよう、若い世代や働いている人向けのボランティア育成講座も開催していきます。

園福祉総務課 ☎39・2371

新しい時代の福祉 みんなを始めよう